

1. 現状と課題

【新専門医制度(2017年～)】

地域における総合的外科教育の重要性がこれまで以上に増加している

【地域における外科教育システムの欠如】

若手外科医に対する良質な「地域における外科教育システム」は存在せず、各医療施設に委ねられている



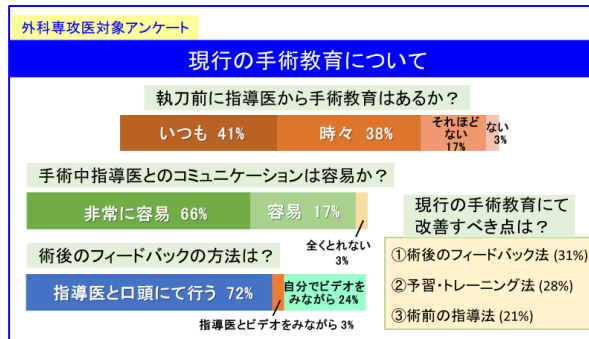
2. 研究計画

【目的】地域における若手外科医に対し、良質で効率の良い外科教育を実行するために「地域における外科教育システム」の開発に向けて、大分県地域での外科教育の実態調査を行い、その課題を明らかにする。この結果に基づいて、「地域外科教育システム(地域外科教育に関する大分モデル)」の構築をめざす。

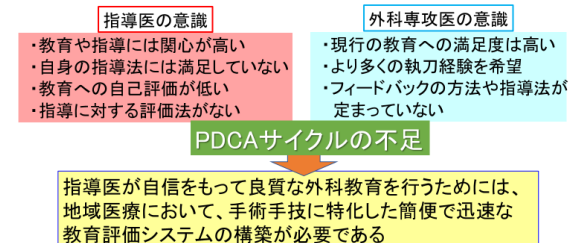
3. 研究の進行状況

1. 若手外科医に対するアンケート調査

大分県地域における若手外科医教育にはPDCAサイクルの運用が不十分

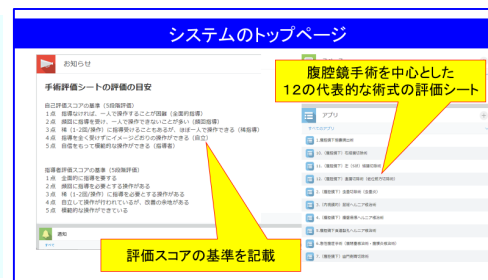


大分県地域における若手外科医教育の現状と課題



2. グループウェアを利用した大分消化器外科手術手技の迅速評価システムの開発 (特許出願中: 2022-127155)

- ・多忙な若手外科医や指導医が簡便に評価の入力が可能
- ・結果を双方向にフィードバックすることが容易に可能



グループウェアによる大分消化器外科手術手技の迅速評価システム (Oita Rapid Assessment System of Operative Procedures (Oita-RASOP))

